

おかげさまで創刊 22 年。

今なお、社員の手作りを続けている

笑顔をまねく地域情報誌、『月刊まねき猫』



今日も新入社員があなたのところへお伺いいたします。

住宅地が建ち並ぶ福岡市南区那の川に本社をおく株式会社やずやは、地域の皆様との繋がりを深めたい、少しでも地域のお役にたちたい、そんな思いから地域の情報を主体とした、地域密着型の情報誌を作り始めました。そんな地域情報誌『月刊まねき猫』も今年で創刊から 22 年を迎えることができました。ここで改めて『月刊まねき猫』についてご紹介させていただきます。

<『月刊まねき猫』のはじまり>

～地域に愛される企業を目指して～

やずやのシンボルである招き猫が初めて登場したのは 1993 年、「商売繁盛やずやどんたく隊」の山車でした。どんたくの後、倉庫に保管するのはもったいないと、会社のウィンドウに設置することに。するとたちまち子供たちに大人気となり、地域の方にも親しまれるやずやのシンボルとなりました。

私たちやずやが南区で頑張っていけるのも、地域の皆様の支えがあつてこそ。

しかし、当時はやずやという会社が福岡市南区のみに存在することもあまり知られていませんでした。

地域の皆様との繋がりを深めたい、少しでも地域のお役にたちたい！そんな思いから、地域や健康、暮らしにかかわる情報を主体とした、地域密着型の情報誌を作ることに決めました。やずやのシンボルのように地域の皆様に親しんでいただけるよう『月刊まねき猫』という名前が付けられたのです。

<まねき猫ができるまで>

① 情報収集

『まねき猫』の編集長は新入社員の登竜門！

新入社員自ら南区周辺を回り、地域の活動や名人などの情報を自分の足で集めます。

② まねき猫会議

歴代の『まねき猫』編集長の先輩たちと話し合い、掲載内容を決める会議。

自分の提案が受け入れられるか否か・・・ドキドキのプレゼンです。

③ 下書き

まずは鉛筆で文章や記事の配置を考えます。

取材で皆様にお話しを伺うとドキドキわくわくしてお伝えしたいことがたくさん！

それをどうしたら読者に伝わるのか限られた紙面スペースにギュッとまとめる作業は本当に頭を悩ませます。

④ 清書

清書用の紙に想いを込めて一筆一筆丁寧に、手書きで文字やイラストを書きます。

⑤ 色付け

昔ながらの風合いを大切にするため、一面に三色のみ使用します。記事の内容に合わせた配色を選びます。

⑥ 入念な確認を経て完成！

毎月25日に22,500部発行し、朝刊で、大楠・高宮・那の川・清水・野間・玉川・塩原地域に折り込まれます。地域の公民館や区役所には直接お手渡しをし、感謝の気持ちとともに届けています。

<19代目編集長より>

19代目編集長の平野です。編集長という大役を1年目の私ができるのか・・・と最初は不安でした。しかし、先輩方から受け継いだ22年という長い歴史のバトンを絶対に受け継いでいく！という強い決意で取り組んでいます。ネタ集めや手書きの資料作成は想像以上に大変で、あわただしい日々を過ごしていますが、「毎月楽しみにしているよ」「手書きの紙面はあたたかくていいね」など、地域の皆様に嬉しいお声をいただけるからこそ、やりがいをもって続けられています。

今後も、地域の皆様が「こんな情報を待っていた！」とワクワクドキドキして頂けるような紙面作りを心がけ、次の編集長にしっかりとバトンを渡せるよう頑張ります！



<最後に・・・>

いまどき地域に根付いた情報誌なんて・・・と思われる方もいらっしゃるかもしれません。
ただ、私たちが南区で頑張っていけるのも、地域の皆様の支えがあつてこそ。
私たちやずやは今までも、今も、そしてこれからも地域の皆様と共に歩み、地域に根差した企業
で在り続けたいと思っています。

【取材等のお問合せ先】

やずや広報担当／^{たけむら}竹村 TEL 092-526-0828 (代表) <https://www.yazuya.com/>

株式会社やずや本社／〒815-8686 福岡市南区那の川 1-6-14